

ROMMONモードからのCatalyst 9800コントローラの復旧

内容

[はじめに](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[設定](#)

[Virtual 9800\(9800-CL\)のパスワード回復手順](#)

[ROMMONを使用したアプライアンスのパスワード回復手順](#)

[USBを介したアプライアンスのパスワード回復手順](#)

[ROMMONからのWLCの起動](#)

[USB経由でイメージをロード](#)

[TFTPからのイメージのロード](#)

[トラブルシューティング](#)

[その他の便利なROMMONコマンド](#)

[関連情報](#)

はじめに

このドキュメントでは、ROMMONモードに基づいてCatalyst 9800コントローラを回復し、フラッシュにイメージがない場合の回復方法について説明します。

前提条件

要件

次の項目に関する知識があることが推奨されます。

- Catalystワイヤレスコントローラ9800

使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、次のソフトウェアとハードウェアのバージョンに基づいています。

- Catalyst 9800バージョン16.10.1

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されました。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、クリアな（デフォルト）設定で作業を開始しています。本稼働中のネットワークでは、各コマンドによって起こる可能性がある影響を十分確認して

ください。

設定

Virtual 9800(9800-CL)のパスワード回復手順

ステップ 1 : 9800-CLをリブートします。ブート選択画面がすぐに表示されます。

```
GNU GRUB  version 0.97  (638K lower / 3143552K upper memory)

WLC - packages.conf
WLC - GOLDEN IMAGE

Use the ↑ and ↓ keys to select which entry is highlighted.
Press enter to boot the selected OS, or 'c' for a command-line.
```

ステップ 2 : この画面でCキーを押して、grubプロンプトを表示します。

ステップ 3 : config 0x2142コマンドを使用すると、そのプロンプトのコンフィギュレーションレジスタを変更できます。

```
grub> confreg 0x2142

Configuration Register: 0x2142

grub> _
```

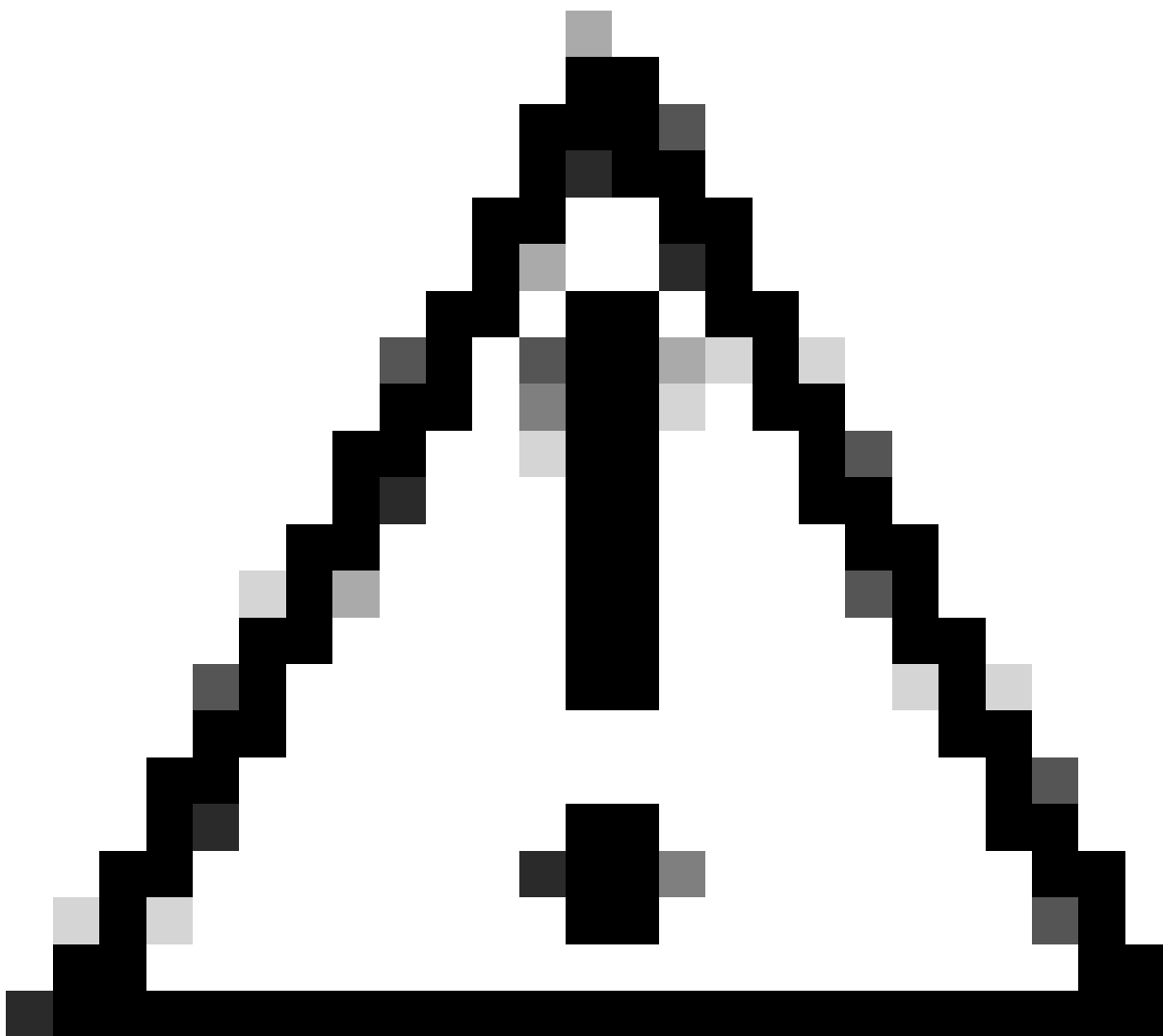
ステップ 4 : Escキーを押してブート選択プロンプトに戻り、通常のイメージでブートするを選択します packages.conf。

ステップ 5 : WLCは設定なしで起動します。それを取り戻しなさい。

手順 6 : ステップ1の手順を繰り返し、コンフィギュレーションレジスタを元の値0x2002に戻すことを忘れないでください。そうすれば、リブート時に設定が保存され、ロードされます。

ROMMONを使用したアプライアンスのパスワード回復手順

ステップ 1: イメージをロードするシステムのコンソールに#####と表示されたら、**break**キーを送信します。その後、システムはブートアッププロセスを中断し、ROMMONプロンプトに移動します。この操作は、キーボードの**break**キーまたは**ctrl+break**キーを押すことで実行できます。ターミナルプログラムからブレイクを送信することもできます(たとえば、**Putty Special Command > Break、Teraterm Control > Send Break**)。



注意: パスワード回復を行うには、システムをROMMONに入れる必要があります。従来のCisco IOS®では、`config-register`設定によって、システムがROMMONに戻るかどうかが決まります。コンフィギュレーションレジスタ `0x2102`を使用すると、ブレイクが発行されたときにROMMONに戻ることができなくなります。デフォルトでは、すべての9800アプライアンス(9800-40、9800-80、9800-L)で`config-register`が`0x2102`に設定されています。ただし、これらのルータはLinuxベースのCisco IOS XE®を実行しているため無視され、ROMMONに戻るのを防ぐ唯一の方法は、コマンド`no service password-recovery`を設定することです。

警告：16.12(3r)よりも古いROMMONが稼働する9800-Lでは、config-registerのこのビットによって、パスワード回復を行うためのROMMONへの侵入が防止されます。

修正：古いROMMONを実行している場合は、『[Cisco Catalyst 9800-Lワイヤレスコントローラのフィールドプログラマブルのアップグレード](#)』に記載されている手順に従ってROMMONをアップグレードしてください。

回避策：アップグレードが不可能な場合、回避策としてconfig-registerを0x2002に変更し、ROMMONからロックアウトされないようにします。

File size is 0x01d191f3 Located C9800-rpboot.16.10.01.SPA.pkg Image size 30511603 inode num 874837, bks cnt 7450 blk size 8*512 #####

ステップ2:ROMMONプロンプトでconfreg 0x2142コマンドを使用して、コンフィギュレーションレジスタを0x2142に変更します。

```
<#root>
```

```
rommon 1 >
```

```
confreg 0x2142
```

```
You must reset or power cycle for new config to take effect
```

ステップ 3 : rommonの設定変更を保存するには、rommonプロンプトsync でrommon to applied change from rommon promptを実行reset します。

```
<#root>
```

```
rommon 2 >
```

```
sync
```

```
rommon 3 >
```

```
reset
```

```
Resetting ..... Initializing Hardware ... System integrity status: 90170200 12030107 System Bootstra
```

ステップ 4 : これで、設定なしでシステムがブートします。スタートアップ構成ウィザードを無視します。

ステップ 5 : システムが起動したら、startup-configをrunning-configにコピーします。

手順 6 : イネーブルパスワードまたはログインクレデンシャルを再設定し、TelnetまたはSSH経由でデバイスにアクセスできるかどうかを確認します。

```
<#root>
```

C9800-40#

telnet 172.22.175.1

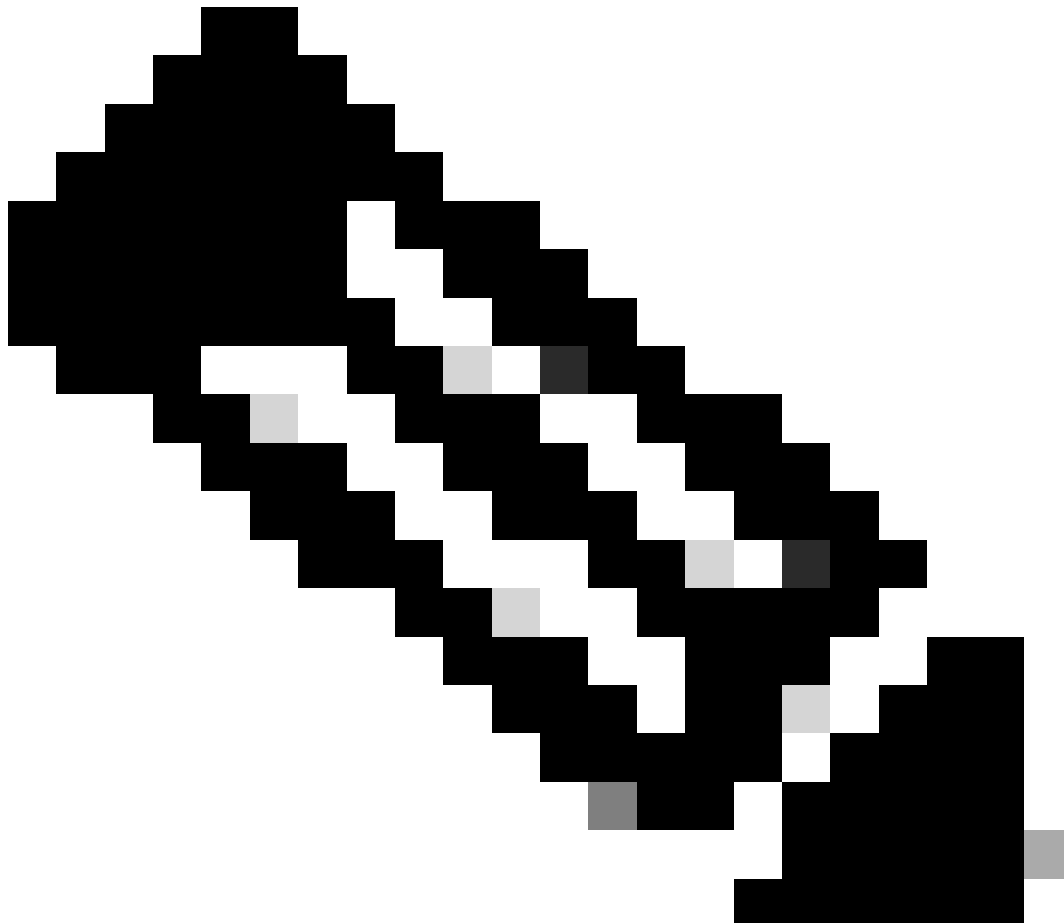
Trying 172.22.175.1 ... Open User Access Verification Username: admin Password: C9800-40#

手順 7 : config-registerを0x2002に戻します。

<#root>

C9800-40(config)#

config-register 0x2002



注:0x2102は使用しないでください。0x2102では、ブレークを送信することはできなくなります。

ステップ 8 : **config**を保存します。

<#root>

C9800-40#

write memory

Building configuration... [OK]

USBを介したアプライアンスのパスワード回復手順

ROMMONからのWLCの起動

ROMMONのままになり、ブートが動作しない場合 :

<#root>

rommon 12 >

boot

File size is 0x0001dfe6 Located memleak.tcl Image size 122854 inode num 12, bks cnt 30 blk size 8*512

このフラッシュには、ブート元のイメージがありません。

<#root>

rommon 13 >

dir bootflash:

File System: EXT2/EXT3 11 16384 drwx----- lost+found 850305 4096 drwxr-xr-x .installer 588673 4096 dr

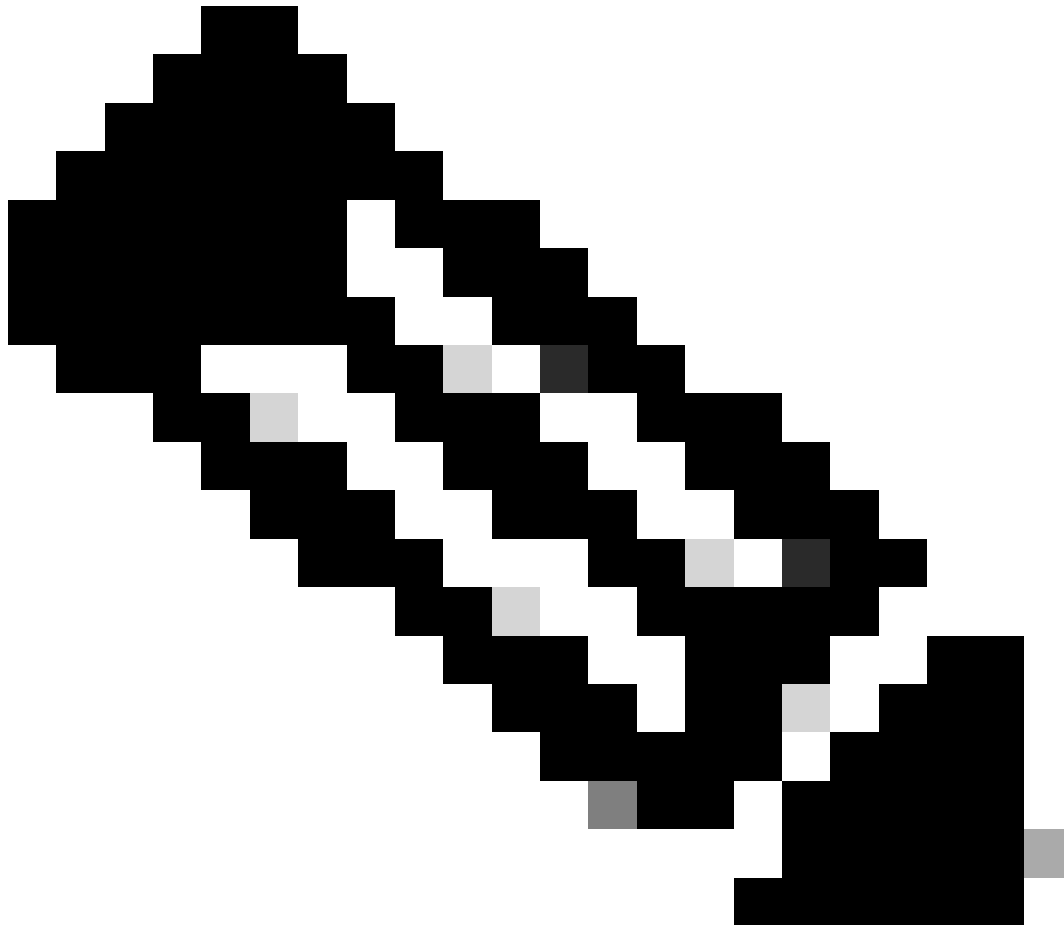
このボックスは、次のいずれかの方法で回復できます。

- USBペンドライブからイメージを読み込んでいます。

- Gigabit0 (帯域外管理インターフェイス) を介したイメージのロード。

USB経由でイメージをロード

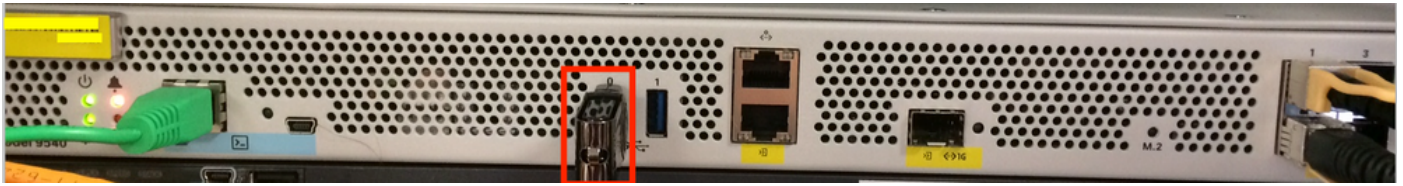
ステップ 1 : 9800コントローラにロードする.binファイルを含むUSBペンドライブを用意します。(9800-80では、Cisco Bug ID [CSCvn82287](#)が原因で、USB 3.0フラッシュドライブをROMMONで認識できません)。



注：手順は仮想9800-CLの場合と同じですが、VMhost上のUSBドライブを接続し、VMにマッピングする必要があります。

ステップ 2 : USBドライバを9800のUSBポート0に接続します。

正面図 :



ステップ 3 : コンソールからコントローラにログインし、USBを読み取ることができることを確認します。

```
<#root>
rommon 19 >
dir usb0:
File System: FAT32 !!--Output omitted-- ! 335644 1009389904-rw- <filename>SSA.bin
```

ステップ 4 : USBイメージから起動するように9800を設定します。

```
<#root>
rommon 21 >
boot usb0:<filename>.bin

Located qwlc-universalk9_wlc.BLD_V169_THROTTLE_LATEST_20180601_191011.SSA.bin, start cluster is 335644
#####
#####
```

ステップ 5 : 9800が稼働したら、USBからbootflash : にイメージをコピーします。

```
<#root>
WLC#
copy usb0:<filename>.bin bootflash:

Destination filename [qwlc-universalk9_wlc.BLD_V169_THROTTLE_LATEST_20180601_191011.SSA.bin]?
Copy in progress...CCCCCCCCCCCCCCCCCCCCCCCCCCCCCCCCCCCCCCCCCCCCCCCCCCCCCCCCCCCC
```

手順 6 : 9800をバンドルモードからインストールモードに変更します。

USBからコントローラを起動すると、バンドルモードで起動します。

!--Output omitted-- ! FIPS: Flash Key Check : Key Not Found, FIPS Mode Not Enabled Processor board ID TTM22071510 1 Virtual Ethernet interface 4

16.12からは、UIで、次のアップグレード時にインストールモードに移行することを選択できます。INSTALLモードに移行する最新リリースを含むソフトウェアファイルを提供します。

手順 7 : ブート変数が packages.conf ファイルをまだポイントしていない場合は、これを編集します。

```
<#root>
```

```
WLC#
```

```
configure terminal
```

```
Enter configuration commands, one per line. End with CNTL/Z. WLC(config)#
```

```
no boot system
```

```
WLC(config)#
```

```
boot system bootflash:packages.conf
```

```
WLC(config)#
```

```
end
```

```
WLC#
```

```
write
```

```
Building configuration... [OK] WLC#
```

```
show boot
```

```
BOOT variable = flash:packages.conf,12; CONFIG_FILE variable does not exist BOOTLDR variable does not
```

コンフィギュレーションレジスタが 0x2002であることを確認します。

ステップ 8 : WLCをリロードします。

```
<#root>
```

```
WLC#
```

```
reload
```

その後、コントローラはインストールモードで起動します。

```
<#root>
```

```
WLC#
```

```
show version
```


最終的にCisco IOSコマンドラインが表示されます。Cisco IOSイメージを実際にフラッシュまたはハードディスクにコピーし、ブート変数を正しく設定することを忘れないでください。ファイルがフラッシュまたはハードディスクにコピーされたら、前のステップ6のUSBから手順を再開できます。

トラブルシューティング

メモリ、USB、またはTFTP上のファイルからブートする際に、「Please reset before booting」というrommonメッセージが表示され続ける場合は、次のようにします。

```
rommon 4 > boot bootflash:C9800-L-universalk9_wlc.V176_1.SPA.bin Please reset before booting
```

コンフィギュレーションレジスタを無効にしてリセットするだけです。この問題はリブート後に解消され、任意のソースからブートできます。

```
confreg 0x0 reset
```

その他の便利なROMMONコマンド

dev コマンドは、使用可能なストレージデバイス (ブートフラッシュ、ハードディスク、usbなど) を一覧表示します。

showmon コマンドでROMMONのバージョンが表示されます。

関連情報

- [シスコのテクニカルサポートとダウンロード](#)

翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。